

やさいレポート（令和6年2月号）



キャベツ



発行日：令和6年2月6日

1. 卸売価格の動向

○76円/kg（2月3日）

➢ 平年比：92%

○2月の価格見通し

高値水準で推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○156円/kg（1月全国平均）

➢ 前月比：89%、平年比：102%

➢ 東京：181円（1玉）

➢ 大阪：196円（1玉）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：11/20（前月7/20）

➢ 大阪：5/10（前月4/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○479g/人（12月全国平均）

➢ 前月比：115%

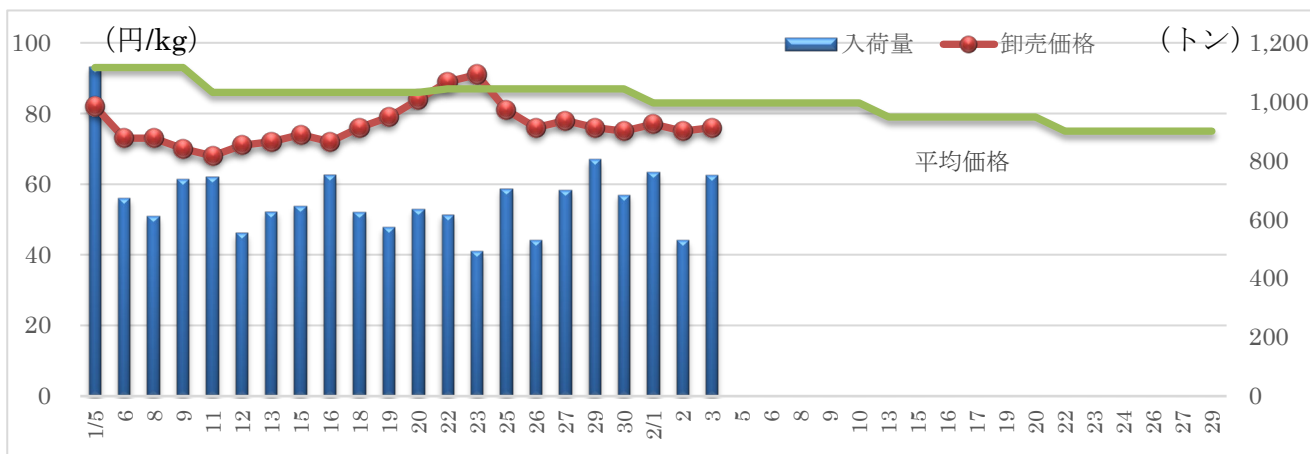
➢ 前年同月比：101%

○5,856g/人（2022年年間）

➢ 前年比：92%

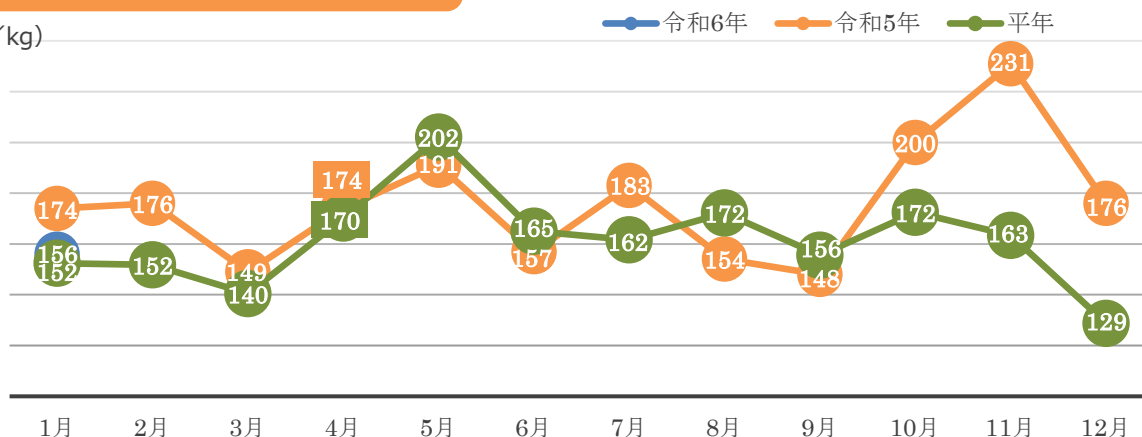
（総務省統計局家計調査）

4. キャベツの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. キャベツの小売価格の推移

(円/kg)



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
静岡県西遠 (12/29)	前年並み	やや良	平年並み	平年並み
愛知県田原市 (1/22)	前年並み	やや良	早い	早い
大阪府泉南 (1/18)	前年並み	平年並み	やや早い	やや早い
和歌山県和歌山 (1/12)	前年並み	平年並み	平年並み	早い
福岡県JA北九 (12/13)	前年並み	不良	遅い	遅い

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



愛知県田原市：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (02/03~03/01)

		週別の天候		
2/03~2/09		北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 東日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。		
2/10~2/16		北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。		
2/17~3/01		北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。		
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少20 並30 多50% 多い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並40 多20% 平年並が少ない見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮キャベツ)

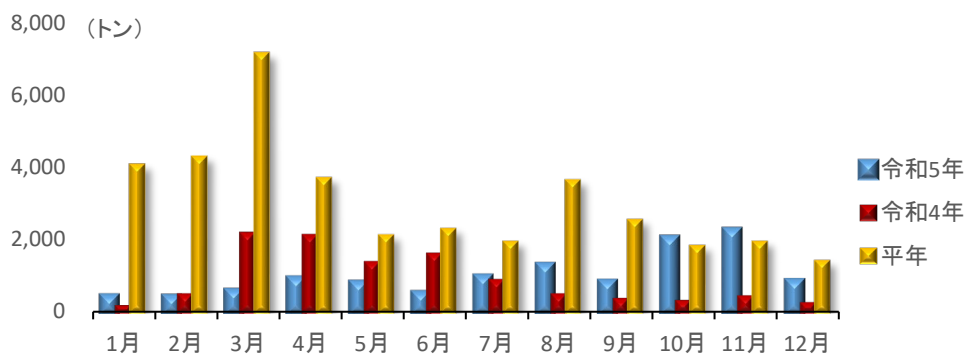
○838トン (12月輸入量)

➢ 前年同月比：353%

○輸入先国ベスト3

全量中国からの輸入

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

1月は、平年より高い気温で生育がかなり前進した愛知産、千葉産、神奈川県などが中旬まで増加したことから、価格は中旬まで平年を下回ったものの、下旬からはこれまでの前進入荷と低温による生育の落ちつきから入荷量が落ち着き、価格は平年並みに回復してきました。

2月は、愛知産、千葉産、神奈川県などが引き続き前進化していることから、千葉産などの切り上がりが早まるために市場入荷量が伸びず、価格は平年を上回る見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793